

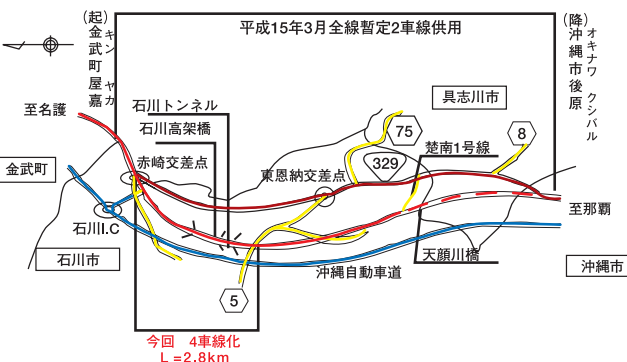
開発建設部

一般国道三三九号石川バイパスの 部分四車線供用について

石川バイパスは、名護市を起点とし那覇市までの沖縄本島東海岸の主要都市を結ぶ一般国道三三九号のうち、交通混雑の著しい石川市街地の交通緩和を目的に金武町屋嘉く沖縄市後原に至る八・二〇の四車線バイパスとして計画されました。昨年三月の全線暫定二車線供用につき、今回、平成十六年三月三十日（火）に赤崎交差点から伊波（県道六号線）の区間（二・八〇）を四車線供用しました。現在、平成十六年度中の全線四車線供用（残り五・四〇）に向け、工事に取り組んでいます。



石川トンネル

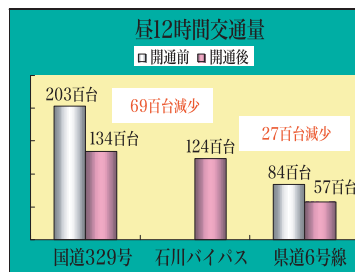
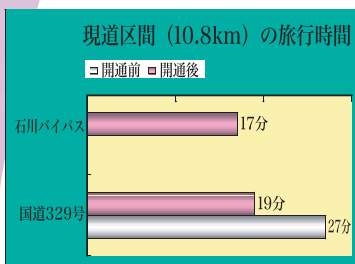


石川バイパス供用による効果

昨年三月の供用後に交通量調査を実施し、供用による効果を調査した結果、供用後現国道区間の交通量が減少しており、バイパスに交通が転換していることが伺えます。また、金武町屋嘉く沖縄市後原間の通過時間も短縮しており、石川バイパス供用による効果が現れています。



開通式



【西崎地区】 一般国道三三二号豊見城道路 部分暫定供用開始

沖縄西海岸道路の一部区間である豊見城道路は、糸満道路とともに県都那覇市を結ぶ一般国道三三二号の糸満、豊見城市及び周辺部の交通混雑の緩和を目的とした豊見城市瀬長から糸満市西崎までを結ぶ、四・〇kmの道路です。今回供用（平成十六年三月三十一日）したのは糸満市西崎町三丁目く同町四丁目までの約一・一km区間です。

供用区間周辺には西崎親水公園、糸満西崎運動公園といった集客施設や西崎工業団地、糸満漁港といった物流拠点、さらに小学校や養護学校といった教育施設が隣接しており、域内外からのアクセスが多い箇所となっております。

豊見城道路については当面、平成十八年度供用に向けて豊見城市瀬長から糸満市西崎地区の整備を進めていく予定ですが、今後この道路の整備が進み全区間供用となれば、国道三三二号などの交通混雑はもとより、沖縄県の玄関口となる那覇空港方面への連絡強化がなされ、地域及び観光産業への支援等経済活性化の大きな期待が寄せられる道路となります。



幅員が広がり利便性が向上した歩道（バス停にはベンチ兼用の植栽を配置）

